

1. 事業構想評価

(1)事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

目標	メニュー	指標	開始年度	目標年度	達成状況															備考	
					1年目(開始年度)			2年目			3年目			4年目			5年目				
					目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		
安定供給体制の整備推進	間伐材生産	間伐材生産経費(円/㎡)の減少率	H30	R4	-	-	-	1	2.18	218%	3	2.72	91%	4	15.66	392%	<u>5</u>	10.28	206%	R5実績報告より(R6.6確認)	
	高性能林業機械等の整備	労働生産性(㎡/人・日)の増加率	H30		11	19	173%	12	17	142%	13	13	100%	14	23	164%	<u>15</u>	17	113%		
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備		地域材利用量(㎡)の増加率		H30	8	20	250%	10	11	110%	14	9	64%	18	16	89%	<u>18</u>	22	122%	
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用量(㎡/百万円)		R1	4.35	5.71	131%	2.86	5.71	200%	2.86	5.71	200%	2.86	5.71	200%	-	-	-	
		木造化(補助率15%以内)																			
		木質化																			
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備	事業費当たりの木質バイオマス利用量(㎡/百万円)																		
		木質バイオマス供給施設整備																			
木質バイオマスエネルギー利用施設整備																					

(注)

- 1 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。
- 3 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 4 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。
- 5 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本報告における評価対象外とする。
なお、該当するメニューについては、本報告に準じ別途達成状況表を作成することとし、その理由を記載すること。

2. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率(%)	年度	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	素材生産量(目標値・増加率)	443	千m ³	H30	600 (35.4%)	千m ³	R5	599 (35.2%)	99.8 99.4	R5	木材統計+バイオマス統計(R6.7.25)
		素材生産性(目標値・増加率)	4.3	m ³ /人日	H30	5.1 (18.6%)	m ³ /人日	R5	5.5 (27.9%)	107.8 150.0	R5	岐阜県林業労働力調査(R6.9.2)
	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗の生産量(目標値・増加量)	200	千本	H30	400 (200)	千本	R5	400 (200)	100.0 100.0	R5	得苗調査(R5.10.31)
マーケティング力ある林業担い手の育成	持続的な林業経営の確立 人材の確保・育成・定着 労働安全の確保	労働災害発生件数(目標値・木材生産量10万m ³ 当たりの発生件数の削減)	13.7	件	R4	9	件	R5	10.59	85%	R5	木材統計+労働災害発生件数(R6.7.25)
		素材生産量(目標値・増加率)	573	千m ³	R4	612 (6.8%)	千m ³	R5	599 (4.5%)	98% (67%)	R5	木材統計+バイオマス統計(R6.7.25)
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備	地域材利用量(増加量・増加率)	362	千m ³	H30	490 (128) (35.4%)	千m ³	R5	362 (0) (0.0%)	74% (0%) (0%)	R5	木材統計(R6.7.25)
		素材生産量(目標値)	443	千m ³	H30	600	千m ³	R5	599	99.8%	R5	木材統計(R6.7.25)

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績/目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進	<p>【高性能林業機械等の整備】 高性能林業機械の導入が進んだことにより、素材生産量及び素材生産性の向上が図られ、いずれも目標を達成している。</p> <p>【コンテナ苗生産基盤施設等の整備】 新規施設の導入により生産規模が拡大されたことにより、苗木生産量の増加が図られ、目標を達成することができた。</p>	<p>【高性能林業機械等の整備】 引き続き、素材生産量および素材生産性向上のため高性能林業機械の導入を図る。</p> <p>【コンテナ苗生産基盤施設等の整備】 引き続き、苗木生産量の増加に向けて整備及び拡大を図る。</p>
マーケティング力ある林業担い手の育成	<p>【持続的な林業経営の確立】 林業事業体が専門家から木材の生産管理や工程管理、PDCAサイクルによる現場作業の改善取組等の指導を受けることにより、生産性向上と安全性向上が図られ、木材生産量は概ね目標を達成している。</p> <p>【人材の確保・育成・定着】 林業担い手育成に係る研修を実施し、林業技術者の知識と技術の習得を図ることができ、素材生産量の概ねの目標達成につながった。</p> <p>【労働安全の確保】 林業労働安全に関する研修及び現場安全パトロールを実施した結果、労働災害発生件数は減少したが、目標値達成まで継続していく必要がある。</p>	<p>【持続的な林業経営の確立】 引き続き、林業事業体の生産性向上のための指導、支援事業を実施し、木材生産量の増加を図る。</p> <p>【人材の確保・育成・定着】 林業の技術習得に関する研修会を今後も継続的に実施していくことで、森林技術者の知識と技術の向上を図り、素材生産量の増加につなげる。</p> <p>【労働安全の確保】 今後も林業労働災害防止に向けた取り組みを継続し、労働安全の確保を図る。</p>
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	<p>【木材加工流通施設等の整備】 生産量については現状維持となっており、H30と比較してA材からC材が減少傾向にある一方で、D材は増加傾向にある。住宅着工件数の減少に伴って、構造材の需要量減少している。</p>	<p>【木材加工流通施設等の整備】 引き続き、県内の現状把握および加工流通施設の導入支援を図る。</p>

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。